

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年10月4日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年10月4日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

| 番号 | 不適合内容 | グレード | 発見日 |
|----|--|------|-------|
| 1 | <p>【協力企業作業員のガラスバッジの紛失について】 協力企業作業員が、6号機原子炉格納容器内での作業終了後、5・6号機サービス建屋で着替えた際、ガラスバッジを紛失していることを確認。 原因は、作業中にベストがひっかけりガラスバッジが外れたものと推定。 なお、警報付ポケット線量計は装着しており、線量管理はできている。 今後、再発防止対策を検討。</p> | GⅢ | 9月28日 |
| 2 | <p>【地下水バイパス移送ポンプ(B)制御盤内電子クーラの故障について】 当社運転員が、地下水バイパス移送ポンプ(B)制御盤盤内温度異常の警報発生を確認。 現場を確認したところ、電子クーラ操作パネルの異常ランプ点灯を確認。 盤内温度に問題はなく、電子クーラの故障と推定。 現在、酷暑期ではなく盤内温度上昇の可能性は低いいため、制御盤に影響なし。 今後、電子クーラの交換を実施する。</p> | GⅢ | 10月1日 |
| 3 | <p>【キャスク仮保管設備の基礎コンクリートの構造計算における入力値誤りについて】 現在、原子力規制庁にて審査中のキャスク仮保管設備増設の実施計画変更申請書について、協力企業より、使用済み燃料乾式キャスク仮保管設備の基礎コンクリートの構造計算で、誤ったデータが記載されているとの報告を受けた。 原因は、解析プログラムと計算プログラムの計算において、入力値を誤ったことによるものと確認。 原子力規制庁には報告済み。 今後、実施計画変更申請書の補正申請を行い、再発防止対策を検討。</p> | GⅢ | 10月2日 |